

長い文章を読んでえらぼう

小6／長めの文章を読んで、文章に書いてあることを2つえらびましょう

なまえ _____

ひびけ _____

1 地球温暖化を よんで、文章に書いてあることを2つえらびましょう。

石油や石炭などの燃料を大量にもやすと、二酸化炭素が増える。二酸化炭素には、地表からにげる熱を閉じこめるはたらきがあるため、増えすぎると地球全体の気温が少しずつ上がっていく。これが地球温暖化である。気温の上昇は、氷がとけて海面が上がったり、各地の気候を変えたりして、人々のくらしにも影響をおよぼす。だからこそ、燃料の使い方を見直す取り組みが世界中で進められている。

- 1 地球温暖化は、各地の気候を変えることがある。
- 2 森林には、二酸化炭素を吸収するはたらきがある。
- 3 気温が上がると、氷がとけて海面が上がることもある。
- 4 温暖化をふせぐため、電気を大切に使うことがすすめられている。
- 5 温暖化で、海のさんごが白くなって弱ることがある。

2 生物の多様性を よんで、文章に書いてあることを2つえらびましょう。

地球上には、名前のついていないものもふくめ、非常に多くの種類の生き物が暮らしている。これらは食べる・食べられるの関係などで複雑につながり合い、たがいに支え合ってつり合いを保っている。一つの種が絶めつすると、そのつり合いがくずれ、思いがけない影響が広がることもある。多くの種が生きられる環境を守ることは、めぐりめぐって人の生活を守ることになる。

- 1 生き物は、たがいに支え合ってつり合いを保っている。
- 2 さまざまな生き物のすめる環境を守れば、人のくらしも守られる。
- 3 新しい種類の生き物は、今も毎年見つかっている。
- 4 外国から持ちこまれた生き物が、もとからいる種をへらすことがある。
- 5 絶めつのおそれがある生き物は、一覧にまとめられている。

長い文章を読んでえらぼう

小6／長めの文章を読んで、文章に書いてあることを2つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 歴史に学ぶを よんで、文章に書いてあることを2つえらびましょう。

歴史を学ぶことは、単に昔の出来事や年号を覚えることではない。過去に人々がどのような選たくをし、その結果どうなったのかを知ること、わたしたちは今の問題を考える手がかりを得ることができる。同じ失敗をくり返さないためにも、過去から学ぶ姿勢が欠かせない。歴史は、未来を考えるための鏡なのである。

- 1 歴史を学ぶことで、自分の住む地域への愛着が深まる。
- 2 過去の選たくと結果を知ると、今の問題を考える手がかりになる。
- 3 昔の出来事は、新しい資料の発見によって見方が変わることがある。
- 4 歴史は、これからのことを考えるときの鏡のようなものだ。
- 5 歴史の出来事は、さまざまな立場から見るのが大切だ。

2 道具から機械へを よんで、文章に書いてあることを2つえらびましょう。

人はくらしを楽にするために、道具を工夫し続けてきた。手で使う簡単な道具から、力を生み出す機械、そして情報をあつかうコンピューターへと、技術は大きく発展してきた。技術の進歩は仕事を効率化し、生活を豊かにした一方で、機械にたよりすぎるものの問題も指てきされている。技術とどうつき合うかを考えることが、今の社会には求められている。

- 1 技術の進歩は、仕事を効率化し生活を豊かにした。
- 2 産業革命では、蒸気機関が工場で使われるようになった。
- 3 ロボットが、人の代わりに危険な作業をすることもある。
- 4 機械の進歩で、なくなる仕事もあると心配されている。
- 5 一方で、機械にたよりすぎる問題を心配する声もある。

長い文章を読んでえらぼう

小6／長めの文章を読んで、文章に書いてあることを2つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 水を守るを よんで、文章に書いてあることを2つえらびましょう。

地球にある水のうち、わたしたちが生活に使える真水は、ごくわずかにすぎない。その真水も、森林の土にたくわえられ、川となり、長い時間をかけてめぐっている。工場や家庭から出るよごれた水をそのまま流せば、この限られた水がよごれてしまう。使える水を守るには、水をよごさない工夫と、むだづかいをしない心がけの両方が必要である。

- 1 雨水をためて、庭の水やりに使う家庭もある。
- 2 水道の水は、じょう水場できれいにされて家庭に届く。
- 3 真水は、森林の土にたくわえられ、川となってめぐる。
- 4 下水しより場では、使った水をきれいにしてから川へもどす。
- 5 水を守るには、よごさない工夫とむだにしない心がけが要る。

2 助け合いの社会を よんで、文章に書いてあることを2つえらびましょう。

社会は、たくさんの人がそれぞれの役割を果たすことで成り立っている。農家が作物を育て、運送する人が運び、店で売る人がいて、はじめてわたしたちは食べ物を手にできる。ふだんは意識しないが、わたしたちのくらしは、見えないところで多くの人の働きに支えられている。たがいに支え合っていることに気づくことが、思いやりのある社会の出発点になる。

- 1 電気や水道は、多くの人が働いて毎日届けられている。
- 2 農家や運ぶ人、売る人がいて、わたしたちは食べ物を手にできる。
- 3 ごみを集める人の働きが、町のきれいさを守っている。
- 4 お店にならぶ品物には、外国から運ばれてきたものも多くある。
- 5 見えないところで、多くの人の働きがくらしを支えている。